

北本 遼太 KITAMOTO Ryota

きたもと りょうた

職位	専任講師
取得学位	博士(心理学)(令和3年3月)筑波大学
最終学歴	筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻博士後期課程修了
専門分野	心理学
主な担当科目	心理学、心理学概論A、心理学概論B、保育の心理学、子ども理解、子ども家庭支援の心理学、教育心理学、経営学専門演習A、経営学専門演習B
研究テーマ	状況論的アプローチに基づく発達過程の質的記述及び介入研究
所属学会	日本発達心理学会、日本認知科学会、日本質的心理学会

教育・研究内容

研究面では、社会的排除に対応するための福祉コミュニティ形成に焦点を当て、状況論的アプローチに基づく検討を行っている。特に、人間発達における感情や人、制度、モノの配置(アレンジメント)に注目して、コミュニティの形成とともに生じる人間発達の過程を検討している。教育面では、心理学ならびに教育・保育に関わる科目の講義を担当し、双方向型授業や映像・遠隔技術を活用した実践、学生の創造性の涵養やコミュニティ形成に資する教育に注力している。これらの教育・研究活動の総体として、任意団体「荒川出版会」での心理学に関するイベントの企画・実施、心理学批評誌「Re:mind」編集を通じた心理学知識の普及に努めている。この活動を通じて、心理学研究者に閉じられない様々な心に関心のある人々が交流する開かれたコミュニティ形成の可能性を探っている。

著書

- | | | | |
|---|-------------------------|---------|-----|
| 1 | パフォーマンス心理学入門ー共生と発達のアートー | 平成31年3月 | 新曜社 |
|---|-------------------------|---------|-----|

学術論文

- | | | | |
|----|---|---------|-----------------------|
| 1 | 福祉事業の起業に伴う新たなアレンジメント形成プロセスの質的検討ー多様なステークホルダーの間で行なわれる「交換」に着目してー(修士論文) | 平成29年3月 | 筑波大学大学院人間総合科学研究科 |
| 2 | 大学生のサークル活動におけるコミュニティ維持に関する質的検討 | 平成29年3月 | 『筑波大学心理学研究』53号 |
| 3 | 「交換形態論」の再評価と「パフォーマンスとしての交換」への拡張ー学習のアレンジメント形成における感情の役割ー(査読付) | 令和2年3月 | 『認知科学』27巻1号 |
| 4 | ギブーゲット関係の転換としての発達ーF. Newman のアイディアと状況的学習論の深化ー | 令和2年3月 | 『筑波大学心理学研究』58号 |
| 5 | 「パフォーマンスとしての交換」に基づく学習コミュニティの記述と介入ー社会的排除への対応としての福祉コミュニティの形成ー(博士論文) | 令和3年3月 | 筑波大学大学院人間総合科学研究科 |
| 6 | ワークショップ「動きで遊ぼう!」の実践報告ー大学生のコミュニティ形成のための試みー | 令和3年9月 | 『浜松学院大学短期大学部研究論集』第19号 |
| 7 | つなぐ感性を育む動きのワークショップ(査読付) | 令和4年7月 | 『感性哲学』12巻 |
| 8 | オルフ・シュールヴェルクの活動における『社会的側面』の限界と可能性ーファシリテーターが予測できることと、できないことー | 令和4年12月 | 『音と動きの研究』50巻 |
| 9 | 研究の中で「私」が何を感じ、その後に実践者と何を見つけたのかー責任、意図(意志と理由)、「むりやりんく遊び」ー | 令和5年4月 | 荒川出版会『Re:mind』vol.1 |
| 10 | アレンジメント再編成の連続的展開を追うことー社会物質性アプローチに基づく介入研究の提案ー(査読付) | 令和5年12月 | 『発達心理学研究』34巻4号 |

学会発表

- | | | | |
|---|---|----------|---|
| 1 | 起業プロセスは様々な利害関係の中でどのように行われるかー情動的側面に着目してー | 平成28年9月 | 日本認知科学会第33回大会(於北海道大学) |
| 2 | Relationships of exchange among various stakeholders in welfare service corporations entrepreneurial activities | 平成29年10月 | International Society for Cultural and Activity Research 5th conference
Canada Québec City Convention Centre |

3	Playing with “Let’s Develop!”: Performing Giving in the Culture of Neoliberalism	平成30年9月	Paper Presented at Performing the World 2018: Let’s Develop! USA Newyork East Side Institute
4	発達支援に関わる実践家と研究者の対話を通じた発達の環境の共創	平成31年3月	日本発達心理学会第30回大会 (於早稲田大学)
5	Talent Show and its Impact in Japan	令和2年8月	Paper Presented at Performing the World 2020 the World Happening(s) first All Stars International Talent Show. アメリカ・ニューヨーク
6	発達心理学における社会物質性アプローチの提案 －混迷する時代において私たちはいかに新たな活動を創出できるのか？－	令和4年3月	日本発達心理学会第33回大会 (オンライン開催)
7	パフォーマンス・アプローチ心理学に基づく研究と実践 －「心のアート」としての心理学とはなにか－	令和5年3月	日本発達心理学会第34回大会 (於立命館大学)
8	研究成果物というモノを起点にしたコミュニティ作り －YouTube配信における視聴者との対話実践のケーススタディー	令和6年9月	日本心理学会第88回大会 (於熊本城ホール)
9	研究会をそれなりのクオリティで配信するために準備したいこと	令和7年9月	日本心理学会第89回大会 (於東北学院大学)
10	演劇でたどる心理学の過去と未来－Danziger(1990)を題材に－	令和7年9月	日本心理学会第89回大会 (於東北学院大学)

報告書

1	子育て家庭がアートとつながるプラットフォーム作りに向けた実践研究	令和4年1月	令和3年度 公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム ゼミ学生等地域貢献推進事業実績報告書
2	Resources for Community Building in Dramatic Play Activities at a Training College for Nursery-School Teachers	令和4年9月	Orff-Schulwerk International, Volume 1, Issue 2,

翻訳

1	Newman, Fred, Holzman, Lois パフォーマンス・アプローチ心理学－自然科学から心のアートへ－	令和4年10月	ひつじ書房
2	Kontopdis, Michalis 新自由主義教育からの脱出－子ども・若者の発達をみんなでつくる－	令和5年5月	新曜社

座談会

1	利他研究から人間観を考える	令和5年4月	荒川出版会『Re:mind』vol.1
---	---------------	--------	---------------------

資料

1	放課後児童クラブにおける「やりたいことワークショップ」の実施報告	令和7年6月	静岡産業大学論集 『環境と経営』第31巻第1号
---	----------------------------------	--------	----------------------------